

2015年10月実施の大栗川の生き物調査・観察会速報

西田一也（東京農工大学非常勤講師）

宮田浩（自然教育研究センター）

大平充（東京農工大学産学官連携研究員）

1. 目的

2015年10月3日（土）午前に多摩市「環境学習セミナー第2回」として、交通公園前の大栗川において生き物調査・観察会を行った。

2. 調査方法

参加者を2グループに分け、各グループがおおよそ1時間、手網により調査範囲内をランダムに水生生物を採集した。そのうちの1グループ（ピンク班、10人）の採集した生物のみ取り分けて、種類別に個体数と、魚類では標準体長を記録した。また、水温、水質、流量を測定した。

3. 結果

生き物は以下の14種類が採集された。10月1～2日の低気圧による降雨によって多摩川上流から流されてきたと考えられるギバチ、下流から遡上してきたと考えられるウキゴリが採集された。なお、他にコイ、ギンブナ、ムサシノジュズカケハゼが採集されたが、区間外であったため表には加えなかった。水温は21.4℃であった。水質は項目によって傾向がやや異なったが例年とそれほど変わらなかった。流量は降雨の影響により多く、5月の約2倍であった。多摩川本流の水が調査区間に流れ込んでいたなど、流路にも若干の変更がみられた。

採集された水生生物と採集個体数

	種類名	ピンク班の 採集個体数	全班の 記録	備考
1	オイカワ	71	●	
2	アブラハヤ	16	●	絶滅危惧種（都）
3	ドジョウ	5	○	情報不足種（国）
4	ヒガシシマドジョウ	8	○	絶滅危惧種（都）
5	メダカ	2	○	絶滅危惧種（国）？
6	ギバチ	1	○	絶滅危惧種（国）、初記録
7	ウキゴリ		○	初記録
8	コヤマトンボ	2	○	
9	ハグロトンボ	1	○	
10	アカネ属	1	○	
11	サナエトンボ科	3	○	ダビドサナエ？
12	アメンボ		○	
13	ヌマエビ類(カワリヌマエビ属)	727	●	外来種
14	アメリカザリガニ	1	○	国外外来種

○：とれた、●：多く採れた（めやす：20個体以上）